

報道関係者との勉強会

～福井圏域に関わる広域的な雪害対応について～

次 第

日 時：令和7年12月5日（金）10:00～

場 所：福井河川国道事務所 3F 第2会議室

- 3か月予報について【資料1】 <福井地方気象台>
- 5S で雪害対策を強化【資料2】 <福井河川国道事務所>
- 大雪等異常気象時の無理な運行指示はトラック・物流 G メンの是正指導の対象になります【資料3】 <中部運輸局 福井運輸支局>
- 質疑応答
- 閉 会

3か月予報について (11/25発表版)

令和7年12月5日
福井地方気象台

冬の天候の見通し(12~2月) 北陸地方

予報のポイント

- 向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並でしょう。
- 向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。
- 向こう3か月の降雪量は、ほぼ平年並の見込みです。

向こう3か月の平均気温・降水量・降雪量

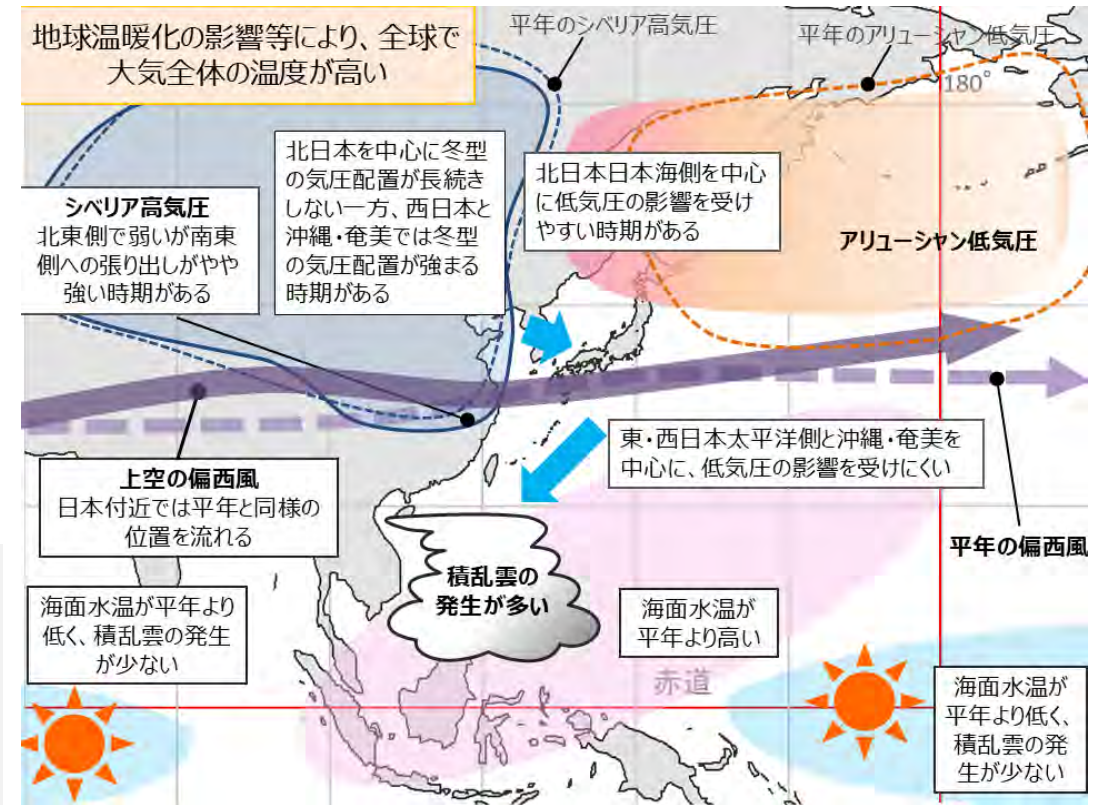
	平均気温 (向こう3か月)	降水量 (向こう3か月)	降雪量 (向こう3か月)
北陸地方	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	平均気温 (3か月) 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 以上 以上 以上	降水量 (3か月) 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 以上 以上 以上 以上	降雪量 (3か月) 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 以上 以上 以上 以上

【参考資料】1991~2020年のデータに基づいた各期間の各要素の平年値は次のとおりです。

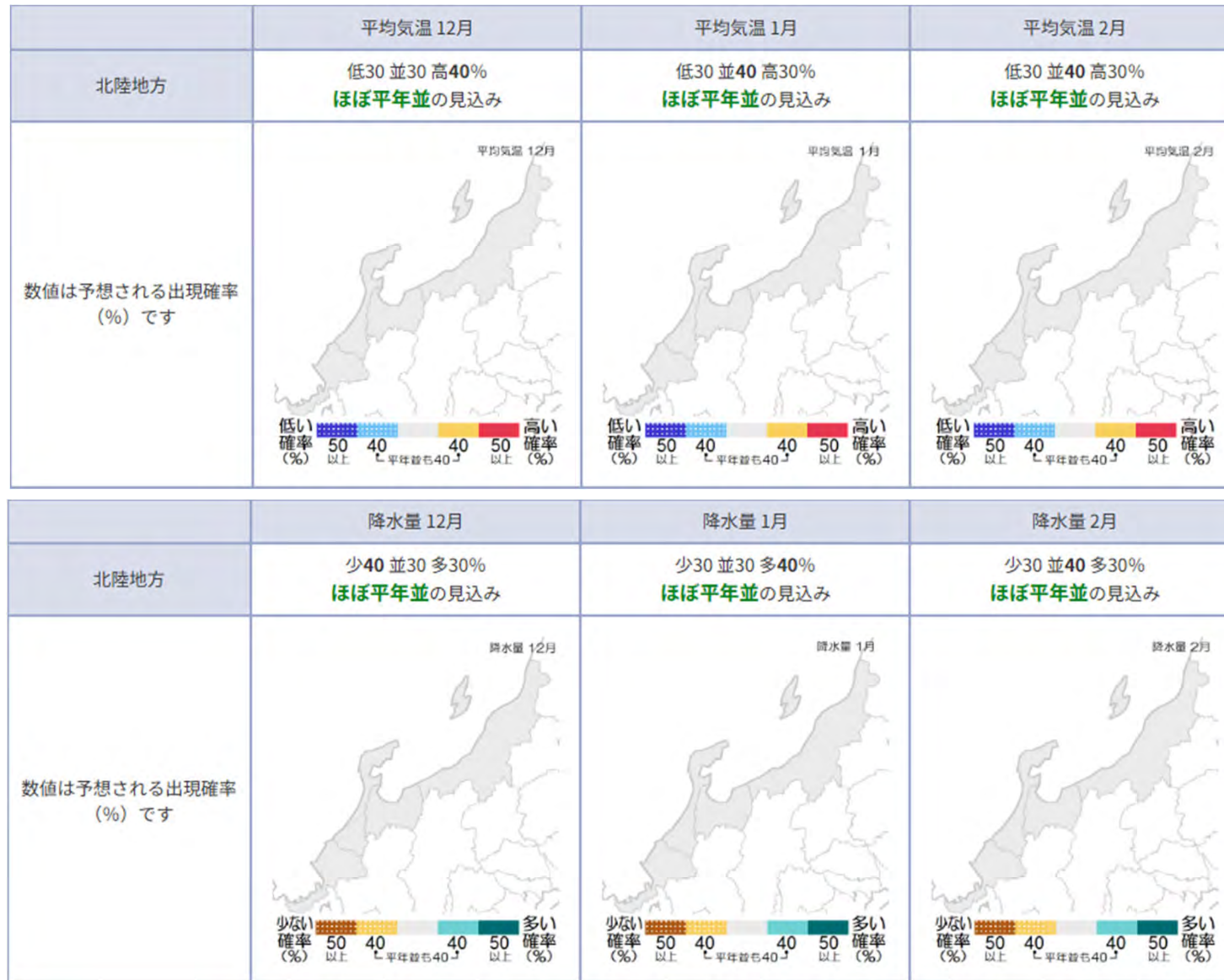
	気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(時間)				降雪量(cm)			
	12月	1月	2月	12~2月	12月	1月	2月	12~2月	12月	1月	2月	12~2月	12月	1月	2月	12~2月
福井	5.9	3.2	3.7	4.3	304.0	284.9	167.7	751.1	72.2	65.4	88.4	226.8	31	85	58	172
敦賀	7.4	4.7	5.1	5.8	316.7	269.5	164.7	744.6	72.6	62.6	81.2	216.5	19	54	43	118

予想される海洋と大気の特徴(12~2月)

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 期間の前半を中心に、ラニーニャ現象に近い状態となるため、海面水温は太平洋赤道域の中部から東部では低い一方、西部で高いでしょう。また、インド洋熱帯域では、期間を通して西部で低いでしょう。このため、フィリピン付近を中心に積乱雲の発生が多い一方、太平洋赤道域の日付変更線付近とインド洋西部では少ないでしょう。
- 上空の偏西風は、ユーラシア大陸で北に蛇行し、日本付近では南に蛇行するものの、平年と同様の位置を流れるでしょう。シベリア高気圧は北東側で弱く、南東側への張り出しはやや強い時期があるでしょう。
- これらのことから、フィリピン付近に向かって北寄りの季節風が強く、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美を中心に低気圧の影響を受けにくいでしょう。一方、北日本日本海側を中心に、低気圧の影響を受ける時期があるでしょう。



3か月予報(12~2月)の予想



【参考資料】1991~2020年のデータに基づいた各期間の各要素の平年値は次のとおりです。

	気温(℃)			
	12月	1月	2月	12~2月
福 井	5.9	3.2	3.7	4.3
敦 賀	7.4	4.7	5.1	5.8
	降水量(mm)			
	12月	1月	2月	12~2月
福 井	304.0	284.9	167.7	751.1
敦 賀	316.7	269.5	164.7	744.6
	日照時間(時間)			
	12月	1月	2月	12~2月
福 井	72.2	65.4	88.4	226.8
敦 賀	72.6	62.6	81.2	216.5
	降雪量(cm)			
	12月	1月	2月	12~2月
福 井	31	85	58	172
敦 賀	19	54	43	118

月別の天候

12月	•冬型の気圧配置が長続きせず寒気の影響を受けにくいいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。
1月	•平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。
2月	•平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

【補足】1か月予報(11/29~12/28)

予報のポイント

- 低気圧の影響を受けやすく、冬型の気圧配置が強まりやすい時期もあるため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

11月25日に発表した3か月予報での12月の予報に比べ、低気圧の影響を受けやすく、冬型の気圧配置が強まりやすい見通しとなったため、多雨の可能性が大きくなりました。

向こう1か月の天候

- 平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間・降雪量

	平均気温（向こう1か月）	降水量（向こう1か月）	日照時間（向こう1か月）	降雪量（向こう1か月）
北陸地方	低40 並30 高30% ほぼ平年並の見込み	少10 並30 多60% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（％）です	平均気温（1か月） 低い確率（％） 50 40 40 50 高い確率（％） 以上 平年並 40 以上	降水量（1か月） 少ない確率（％） 50 40 40 50 多い確率（％） 以上 平年並 40 以上	日照時間（1か月） 少ない確率（％） 50 40 40 50 多い確率（％） 以上 平年並 40 以上	降雪量（1か月） 少ない確率（％） 50 40 40 50 多い確率（％） 以上 平年並 40 以上

冬（12～2月）の注意点等

今冬（12～2月）は、冬型の気圧配置が強まる時期があります。

降水量は12月が平年より多く、1月、2月はほぼ平年並みとなる見込み。気温・降雪量は3か月ともに、ほぼ平年並の見込み。

一時的に強い寒気が入ると大雪となる可能性が高くなりますので、最新の気象情報等に留意してください。

注）最新の1か月予報で12月の降水量予想が「多い見込み」に変わりました。

なお、冬の天候に影響の大きい北極振動の予想は難しく、現時点では考慮できていませんので、予報には不確定性があります。常に最新の1か月予報等をご覧ください。

【参考資料】福井・敦賀の平年値及び地域の平年並の範囲

【参考資料】1991～2020年のデータに基づいた各期間の各要素の平年値は次のとおりです。

	気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(時間)				降雪量(cm)			
	12月	1月	2月	12～2月	12月	1月	2月	12～2月	12月	1月	2月	12～2月	12月	1月	2月	12～2月
福 井	5.9	3.2	3.7	4.3	304.0	284.9	167.7	751.1	72.2	65.4	88.4	226.8	31	85	58	172
敦 賀	7.4	4.7	5.1	5.8	316.7	269.5	164.7	744.6	72.6	62.6	81.2	216.5	19	54	43	118

【参考資料】1991～2020年のデータに基づいた各期間の各要素の平年値は次のとおりです。

	気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(時間)				降雪量(cm)			
	11月	12月	1月	11～1月	11月	12月	1月	11～1月	11月	12月	1月	11～1月	11月	12月	1月	11～1月
福 井	11.3	5.9	3.2	6.8	196.1	304.0	284.9	783.5	114.4	72.2	65.4	251.6	0	31	85	114
敦 賀	12.7	7.4	4.7	8.3	176.0	316.7	269.5	759.0	111.5	72.6	62.6	246.1	0	19	54	74

1991～2020年のデータに基づいた各期間の地域平均の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

地域平均気温の平年差（単位：℃）

	12月	1月	2月	12月～2月
北陸地方	-0.1～+0.6	-0.2～+0.3	-0.4～+0.4	-0.2～+0.3

地域平均降水量の平年比（単位：%）

	12月	1月	2月	12月～2月
北陸地方	91～107	92～105	84～118	93～104

地域平均日照時間の平年比（単位：%）

	12月	1月	2月	12月～2月
北陸地方	83～114	98～107	89～109	96～104

地域平均降雪量の平年比（単位：%）

	12月	1月	2月	12月～2月
北陸地方	38～125	80～113	65～118	80～127

1991～2020年のデータに基づいた各期間の地域平均の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

地域平均気温の平年差（単位：℃）

	11月	12月	1月	11月～1月
北陸地方	-0.4～+0.4	-0.1～+0.6	-0.2～+0.3	-0.3～+0.4

地域平均降水量の平年比（単位：%）

	11月	12月	1月	11月～1月
北陸地方	90～108	91～107	92～105	91～104

地域平均日照時間の平年比（単位：%）

	11月	12月	1月	11月～1月
北陸地方	100～106	83～114	98～107	97～104

地域平均降雪量の平年比（単位：%）

	11月	12月	1月	11月～1月
北陸地方	///	38～125	80～113	77～123

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和7年12月4日14時00分
近畿地方整備局
福井河川国道事務所
中日本高速道路(株)金沢支社
西日本高速道路(株)関西支社

北陸道(福井圏域)に関わる広域的な雪害対応について ～5Sで雪害対策を強化～

- 今冬、北陸地方では平年並の降雪が予想されていますが、シーズン始めの12月でも一時的に強い寒気が入ると大雪となる可能性が高くなりますので、十分な雪害に対する備えが必要と考えているところです。
- 過去の平成29年度及び令和2年度の冬には、北陸道や国道8号において大型車の立ち往生等の影響で、大規模な渋滞・滞留が発生しています。
- これらの教訓を踏まえ、関係機関と連携して雪害対応に取り組んできましたが、あらためて道路利用者や地域の安全・安心の確保、物流への影響の軽減を図るため、今年度からの新たな取り組み等により雪害対策を強化するとともに、予防的通行止めについては継続して実施してまいります。
- 今冬も大雪の予防的通行止め、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

【ポイント】

(1) 新たな取り組みなど 雪害対策【別紙1】

『5つのSによる雪害対策の強化』

- Search (早く見つける)
- Save (早く救助する)
- Stop (早く止める)
- Snow-removal・melting (早く除融雪する)
- Support (地域に寄りそう)

(2) 予防的通行止めについて【別紙2】

- ・ 今年度も引き続き予防的通行止めを実施
(ただし、実際の降雪により通行止め区間に変更)
- ・ 通行止めの情報発信については、報道などの時間に配慮し、段階的な広報を継続

【お願い】

(3) 福井河川国道事務所公式Xフォローのお願い【別紙3】

- ・ リアルタイムに通行止め等の情報が入手可能
- ・ 近畿地整管内 No.1 のフォロワーによる情報拡散により、適切な雪対応者の増加が期待

(4) 一般ドライバー及び荷主を含む物流業界の皆様へ【別紙4】

- ・ 大規模なスタックは12月後半に一番多く発生しています。まだ冬用タイヤに交換できていない方は、ただちにタイヤ交換をお願いします。
- ・ 報道や各種 HP にて大雪の可能性のある情報を得た場合は、外出を控えていただくとともに、「荷主」のみならず「荷受」も含めた物流業界全体において、「運行経路の変更」・「運行の中止」のご検討をお願いします。

【その他】

(5) 過年度からの取り組み等も継続し、今冬の大雪に備えます。【別紙5】



■福井圏域の道路情報等については、以下のサイトを参考に確認をお願いします。

<高速道路、国道、県道に関する情報について>

- 近畿地方整備局ホームページ : <https://www.kkr.mlit.go.jp>
 - ・ 福井河川国道事務所ホームページ : <https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/index.html>
 - ・ 滋賀国道事務所ホームページ : <https://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/>
- 北陸地方整備局ホームページ : <https://www.hrr.mlit.go.jp>
 - ・ 金沢河川国道事務所ホームページ : <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/index.html>
- みち情報ネットふくい(福井県HP) : <https://www.hozen.pref.fukui.lg.jp/hozen/yuki/index.html>
- 滋賀県ホームページ : <https://www.pref.shiga.lg.jp>
- 石川県ホームページ : <https://www.pref.ishikawa.lg.jp>
- iHighway (アイハイウェイ) 中日本 : <https://www.c-ihighway.jp/pcsite/>
- iHighway (アイハイウェイ) 西日本 : <https://ihighway.jp/pcsite/>

<各機関の SNS などについて>

- 近畿地方整備局X (旧Twitter) : https://x.com/mlit_kinki_koho
 - ・ 福井河川国道事務所X (旧Twitter) : https://x.com/mlit_fukui
 - ・ 滋賀国道事務所X (旧Twitter) : https://x.com/mlit_shiga
- 北陸地方整備局X (旧Twitter) : https://x.com/mlit_hokuriku
 - ・ 金沢河川国道事務所X (旧Twitter) : <https://x.com/KanazawaBousai>
- 福井県X (旧Twitter) : <https://x.com/AnshinFukui>
- 滋賀県X (旧Twitter) : https://x.com/ha08_shiga
- 石川県X (旧Twitter) : <https://x.com/e250500>
- NEXCO 中日本名古屋支社X (旧Twitter) : https://x.com/c_nexco_nagoya
- NEXCO 中日本金沢支社X (旧Twitter) : https://x.com/c_nexco_kana
- NEXCO 西日本関西支社X (旧Twitter) : https://x.com/w_nexco_kansai

<取り扱い> _____			
<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、福井県政記者クラブ			
<問合せ先>			
近畿地方整備局 福井河川国道事務所		副所長	かとう まさき 加藤 正己
		道路管理課長	ささじま かずひこ 笹嶋 和彦
TEL : (0776) 35-2661			

北陸道（福井圏域）に関わる広域的な雪害対応 検討経緯

■平成30年2月 福井嶺北に大雪

【北陸道】武生IC～砺波IC間を雪により通行止め

・国道8号への交通集中に伴い、複数箇所で立ち往生が発生し、車両滞留に発展

■令和3年1月 福井嶺北に大雪

【北陸道】武生IC～加賀IC間で立ち往生が発生し、通行止め

・国道8号へ大量の車両が流れ込み、長距離の渋滞が発生し、除雪が困難な状況に発展。

■令和3年3月改定 大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ

①これまでの取組

【大雪時の道路交通確保に関する基本的な考え方】

「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本的な考え方として対応。

【大雪時の道路交通確保に向けた取り組みの強化】

- ・タイムラインの作成
- ・除雪体制の強化
- ・短期間の集中的な大雪時の行動変容の呼びかけ
- ・短期間の集中的な大雪時の予防的かつ高速道路と並行国道の同時通行規制・集中除雪の実施

■令和6年1月 福井嶺北・嶺南に大雪

【北陸道】長浜IC～武生IC間を雪により通行止め

【舞若道】若狭美浜IC～敦賀JCTを雪により通行止め

（早期の同時通行止め実施により滞留が発生しなかった）

②令和6年度の取組

令和6年度は「ラニーニャ現象」により平年より多い降雪量が見込まれるため、福井県冬期道路情報連絡室において大雪対応方針を確認

・通行規制の基本的な考え方

・過年度（令和3年1月、令和6年1月など）の大雪の教訓を踏まえた通行規制範囲

・低速車両の車列やスタック発生状況を踏まえた通行止めルール

・高速道路の段階的規制解除及び国道先行規制解除のルール

・CCTVの共有

③令和6年度の課題

・より迅速なスタック車両の発見と救出・通行止め

・過去スタック発生箇所のハード対策

・降雪想定エリアに合わせた通行止めの実施

・更なる効果的な広報と通行止め解除見通しの発信

④今シーズンの新たな取組（今回記者発表）

令和7年度は平年並みの降雪が予想されているが、12月には大雪が降る可能性があり、雪害に対する備えが必要。

・引き続き、AI検知等を駆使した監視と防災用EVバイクの配備、エア遮断機導入

・ロードヒーティングの整備

・降雪想定エリアを前提に通行止め範囲設定

・段階的な記者発表と福井河川国道事務所Xの利活用（PR）

R7年度
方針

5S (Search・Save・Stop・Snow-removal/melting・Support) による雪害対策の強化

「課題」と「R6までの対応状況」

Search 早く見つける

- 大規模滞留を防ぐためにはスタック車両の早期発見が重要
- 239基のカメラによる24時間監視やAI自動検知システムの導入(239基のうち57基)、死角部の遠隔監視を可能とする可搬式のAIカメラ(2台)を試行的に導入
- SNS(X)の危機情報を活用し、初動対応の迅速化

Save 早く救助する

- 大規模滞留のきっかけとなるスタック車両は、早期の救助が必要であるが、除雪車等の車両や徒歩では、発生現場への到着に時間を要する
- 車両や徒歩でスタック現場に向かい救助

Stop 早く止める

- 通行止めは、事前の積雪予測をもとに、近隣で待機し実施するが、近年の短時間強降雪によって、急遽の通行止めを実施する場合、到着が遅れ通行止めの措置に遅れが生じる可能性がある
- 規制車両が通行止め箇所に急行し、通行止めを実施

Snow -removal -melting 早く除融雪する

- 道路勾配が厳しい箇所はスタックが発生しやすいが、短時間に強降雪となった場合、限られた除雪車両では除雪作業が遅くなる可能性がある
- 連続した強降雪の場合は、散水でも対応困難
- 除雪車126台により除雪作業に対応
- 塩化カルシウムの散布や散水、除雪等により対応
- 予報を見ながら他工区からの応援

Support 地域に寄りそう

- 冬期の通学路では、除雪が不十分で安全な歩行空間が確保されない場合があることに加え、大雪時には特に通学時間前までに除雪を間に合わせることが困難
- 大雪後は、住民の一日も早い日常生活の回復が必要
- 道路管理者毎に対応

R7新たな取り組み

- 引き続き、AI検知・可搬式カメラ・SNSでスタック車両の早期発見
- 可搬式カメラは**本格運用**、監視カメラは**7基増設**(合計246基)

<参考> 監視カメラのカバー率

国道8号	52%	国道161号	60%
国道27号	37%	中部縦貫自動車道	57%

- 直轄国道で初めて、雪道でも走行可能なキャタピラ式の防災用EVバイクを2台導入
- 市街地に比べ、民家や脇道等が少ない国道8号の敦賀市から南越前町間において、スタック車両の脱出を補助できるように配備
- バイクには、牽引ソリに「緊急脱出用チェーン」を積載

- 規制車両の到着を待たずに、ボタン1つでバリケードが可能なエア遮断機を導入
- 迂回路が少なく、市街地から遠い中部縦貫自動車道のインターチェンジ入口に設置
(福井北・松岡・永平寺参道・荒島・勝原・下山・九頭竜IC)
- ※ 来年度(R8年度)から遠隔操作も可能になる予定

- 過去にスタックが発生した箇所(あわら市熊坂)において、路面にロードヒーティングを整備し、熱による融雪を実施(福井の降雪特性を考慮し、轍部のみに設置し、省力化・コスト削減を図る)

<参考> 散水設備のカバー率

国道8号	35%	国道161号	87%
国道27号	18%	中部縦貫自動車道	19%

- 除雪車を**2台増強(合計128台)**し、除雪作業を迅速化

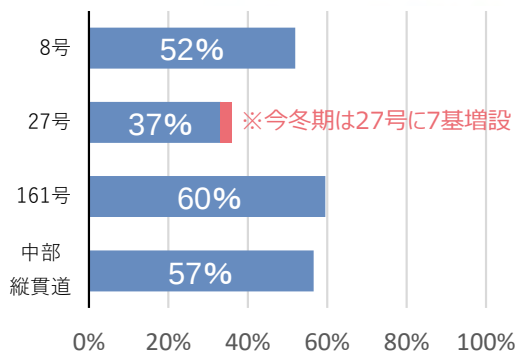
- 道路管理者、学校関係者、自治体等による調整会議を新たに設置し、冬期の安全・安心な通学路を確保
- ※ 先行実施地区として**福井市(主計中地区)**を選定
- 地域のニーズを踏まえ、自治体と連携した除雪を検討

S

Search



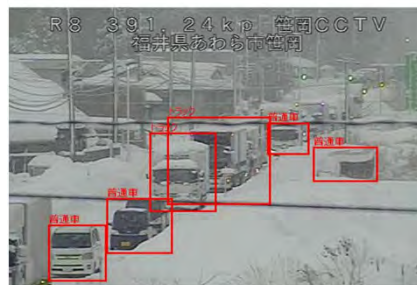
早く見つける



監視カメラのカバー率
= カメラの監視可能範囲合計 / 路線延長

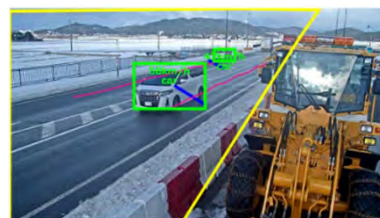
監視カメラのカバー率

R6年度からの継続的な取り組み



AI検知システム導入率 約23%
= AI検知システム導入率カメラ 57基
/ 総カメラ台数 246基

AI検知システムの導入



- ・R6年度から死角部のスタック車両検知に活用 (全2基)
- ・R7年度から本格運用

可搬式AIカメラの導入



SNSを活用した情報収集

S

Save



早く救助する



＜直轄国道初＞

- ・雪道でも走行可能な防災用EVバイクを2台導入
- ・牽引ソリに「緊急脱出用チェーン」を積載



防災用EVバイクの配備箇所



渋滞に巻き込まれる除雪車



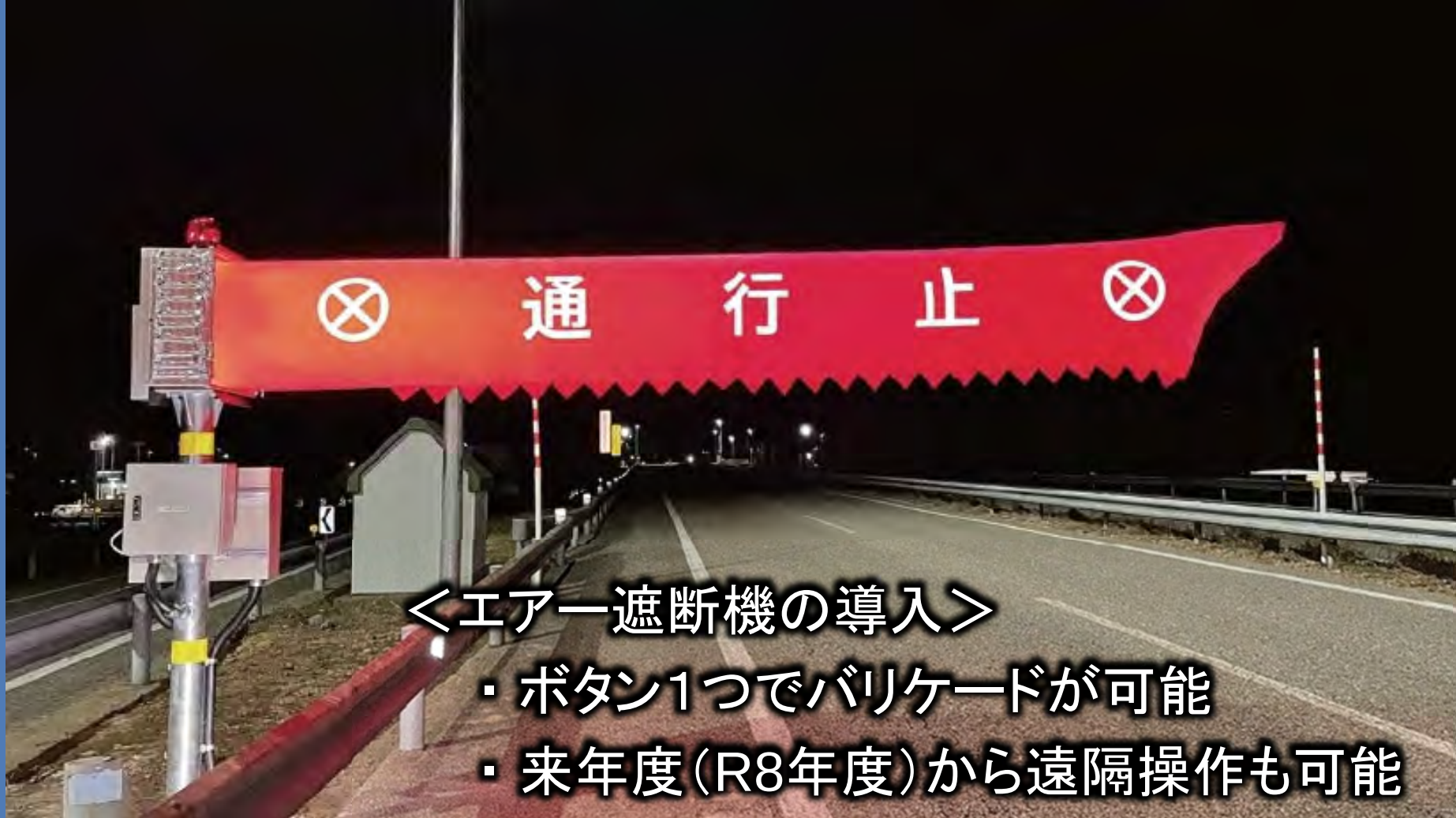
緊急脱出用チェーンによる救助

S

Stop



早く止める



<エア一遮断機の導入>

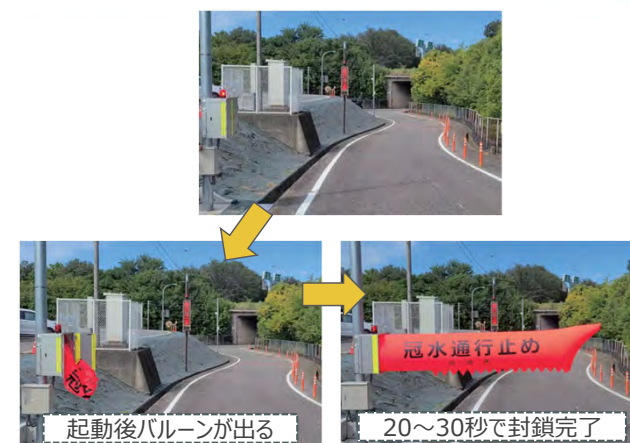
- ・ ボタン1つでバリケードが可能
- ・ 来年度(R8年度)から遠隔操作も可能



エア一遮断機の導入箇所



規制車による通行止め



エア一遮断機作動状況

S

Snow
-removal
-melting



早く除融雪する

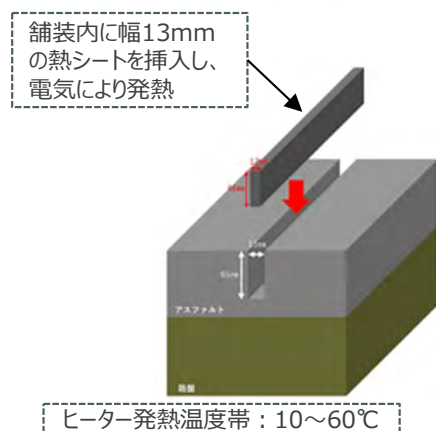


<ロードヒーティングの整備>

- ・ ^{わだち} 轍部のみを融雪し、設置の省力化とコスト縮減を実現



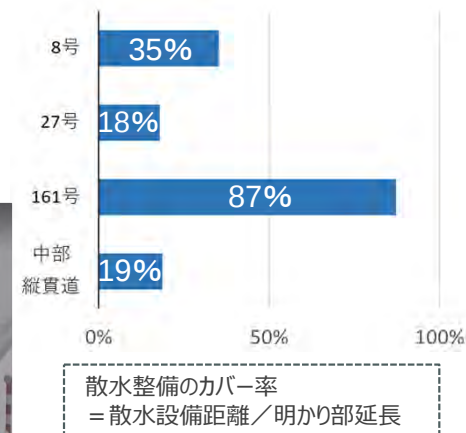
ロードヒーティング
整備予定箇所



ロードヒーティングの仕組み



省力化とコスト縮減イメージ



散水設備のカバー率

S Support



地域に寄りそう



＜地域のニーズに対応＞

・ 地域住民の安全・安心をサポート

冬期通学路確保強化の取り組みイメージ



関係者の現場視察・意見交換



歩道除雪の実施



消融雪設備による通学路確保

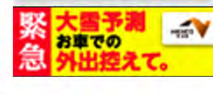


ボランティアによるバス停雪かたづけ

NEXCO中日本における取り組み

事前広報とお客さまへの情報提供の強化

- 訴求力の高いメッセージの発信
 - ・お客さまの命を守るため外出はお控えください
 - ・運送日の変更や降雪地域を避けた広域迂回をお願いいたします
- TV・ラジオ等に加え、インターネットバナーを活用
- X・LINEアカウントを運用し、お客さまへ情報発信



インターネットバナー

「緊急のお知らせ」に差し替えて放送



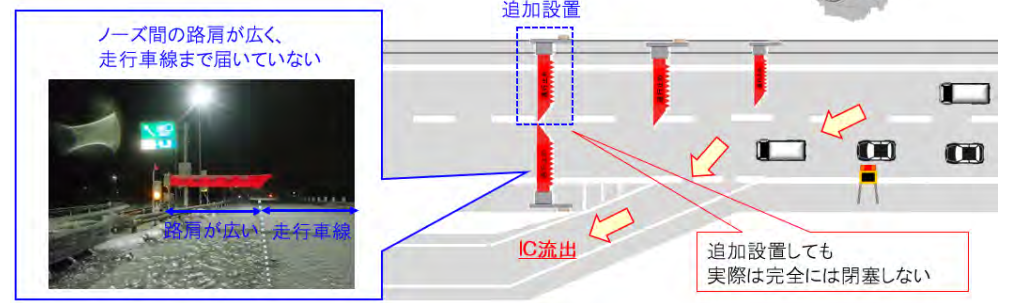
コンビニエンスストアのデジタルサイネージ広告



各種SNS

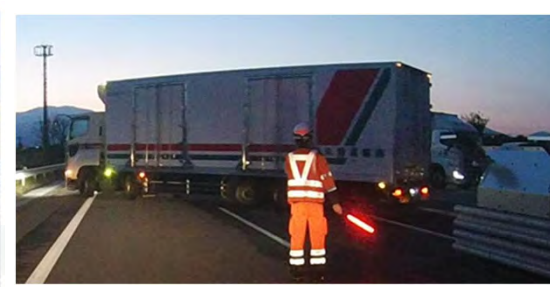
簡易な規制装置(エア遮断機)の整備

- 通行止め時に端末となる出口インター本線部に順次整備
 - ・2025年度時点:6箇所



中央分離帯開口部の整備

- 大規模な車両滞留が発生した際には、本線をUターンして頂き、速やかに救出するため、本線中央分離帯に順次整備
 - ・2025年度時点:14箇所



※事故発生時の滞留車両流出状況

スタック車両発生に備えた救援車両の配備

- スタック車両を速やかに救出すべく、高速道路内に救援車両を配備
 - ・2025年度時点:35台

NEXCO西日本における取り組み

NEXCO



雪氷作業監視体制の強化

- 除雪・散布作業状況や路面状況の監視体制強化を目的に遠隔監視用クラウド型カメラを設置



除雪体制・凍結・圧雪路面对応等の強化、滞留車両排除体制の確保



- 圧雪除去機械の増強・路肩堆雪の排雪方法見直し。

大型ペイローダーの増台（計6台）



福知山IC(0→1台)・舞鶴東IC(0台→2台)
舞鶴西IC(1→2台)・大飯高浜IC(0→2台)

西日本

- 除雪設備の強化(高圧温水機)

- スタック車両発生に備え、全雪氷車両に牽引ロープを配備し、スタック車両発生時の有事に備えた体制を確保

<高圧温水器の導入>



牽引ロープの配備と
牽引訓練の実施



<道路利用者へのお願い>

- ◆ドライバーや荷主・荷受企業の皆様へ「出控え」、「運行経路の変更」、「運行の中止」をお願いします

<大雪時の道路交通確保の対策方針>

① 大雪時の道路交通確保に対する考え方

- ◆ 人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避
- ◆ 社会経済活動への影響を最小化するため「集中除雪による早期解放」に努める

② 道路交通確保策

予防的通行止め(継続)

- ◆ 除雪能力を超過する強降雪が予測された場合、事前の通行止めを実施
- ◆ 高速道路が通行止めとなる場合は並行する国道などの同時通行止めを実施
- ◆ 通行止め中に集中除雪を実施し、通行止め期間を最小化
(実際の降雪の状況を確認し、積雪の可能性を見極めて最終判断)
(国道での降雪が少ない場合でも並行する高速道路に合わせ通行止めの可能性)

福井県嶺北全域に基準超過する降雪があった場合の 通行止め区間・広域迂回路のイメージ

<高速>

■通行止め区間

北陸道: 加賀～長浜
舞若道: 若狭美浜～敦賀

<直轄>

■通行止め区間

国道8号: 熊坂チェン着脱場
～川崎交差点

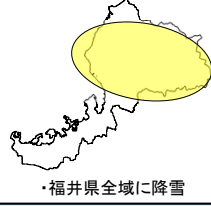
※国道は通過交通がUターン出
来る箇所を選定

<広域迂回路>

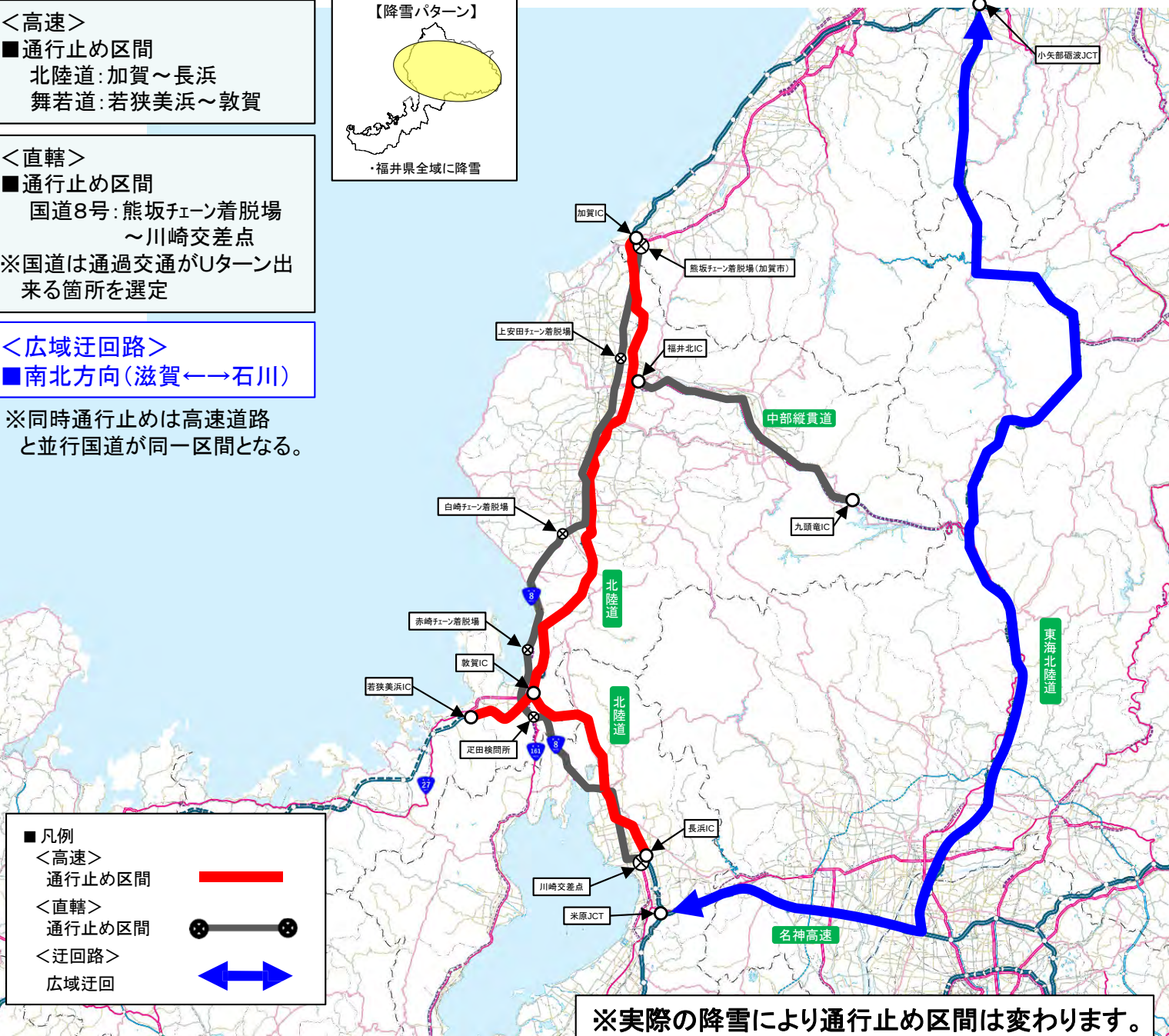
■南北方向(滋賀←→石川)

※同時通行止めは高速道路
と並行国道が同一区間となる。

【降雪パターン】



・福井県全域に降雪



※実際の降雪により通行止め区間は変わります。

報道に合わせた段階的な広報

■令和6年度の広報実績

- ①令和7年2月22日 10時30分 大雪に関する[合同会見の開催](#)について(ご案内)
- ②令和7年2月23日 15時 大雪の影響による[通行止めの可能性の高い区間](#)について
- ③令和7年2月23日 19時 北陸道・舞鶴若狭道等の[通行止め予定](#)について

※今年度は報道などの時間に配慮して情報提供



雪に備え、
福井河川国道事務所の
公式Xをフォローして下さい。

※ 福井河川国道事務所の公式Xは、近畿地方整備局管内の事務所でNo.1のフォロワー数(約1.8万フォロワー)

メリット

- ▶ 1. 道路管理者から、通行止めの可能性や予告、除雪状況、解除情報をリアルタイムに入手可能
- ▶ 2. 管内No.1を誇るフォロワー数によって情報拡散。出控え等の適切な雪への対応者が増加。
- ▶ 3. 緊急時の迅速な判断材料(待避所・迂回路等)を入手可能。

提供情報

注意喚起

例：寒波に注意・冬用装備の携行を



通行止め可能性

例：●●エリアで通行止めの可能性がります



通行止め予告

例：●●道路で●時頃に通行止めを予定しています
例：●●道路で●時に通行止めを実施します



通行止め開始

例：●●道路で●時から通行止めを実施しています



定時(臨時)広報

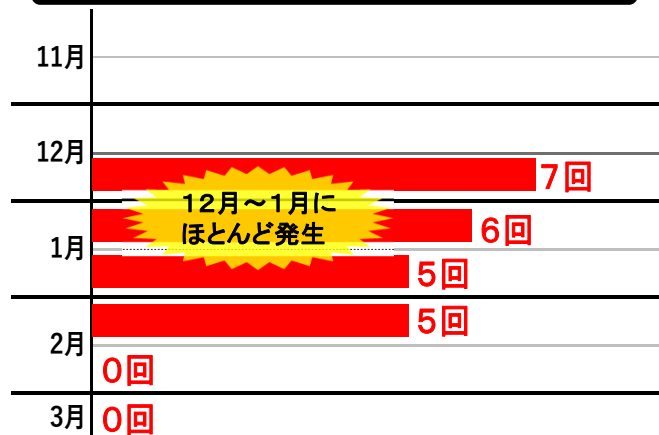
・通行止め解除見通し
・除雪状況(写真・動画)



通行止め解除

- ・ 大規模なスタックは12月後半に一番多く発生しています。まだ冬用タイヤに交換できていない方は、ただちにタイヤ交換をお願いします。
- ・ 積雪、凍結道路で滑り止めの措置を取らない場合は道路交通法令違反となります。
- ・ また、国土交通省では、冬用タイヤの未装着等により事業用自動車が立ち往生した場合、悪質な事例については、監査を実施した上で、輸送の安全を確保するための措置が不十分と判断されれば行政処分対象となることがあります。
- ・ 気象急変により想定以上の降雪となる場合もありますので、ドライバーの方々におかれましては、お出かけ前に最新の気象情報及び道路情報を必ず確認してください。報道や各種HPにて大雪の可能性のある情報を得た場合は、命を守るため外出を控えていただき、荷主を含む物流業界においては「運行経路の変更」「運行の中止」のご検討をお願いします。

大規模車両滞留の発生時期（平成27年度～令和6年度）



平成30年2月 国道8号での滞留状況



令和3年1月 国道8号での滞留状況



皆様へのお願い

①大雪時の 外出自粛



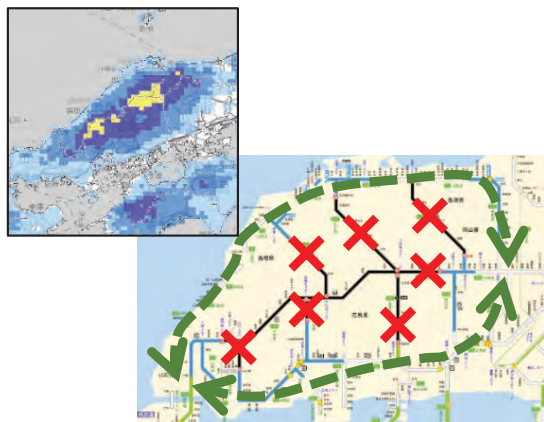
②冬用タイヤ装着、 チェーン携行・ 早め装着



③冬用装備の携行



④広域迂回、 通行ルート見直し



⑤特に事業用自動車 の冬用タイヤ装着、 タイヤ摩耗劣化確認



⑥最新の気象情報、 交通情報の確認



＜地域状況に応じた除雪体制の強化＞

- 短期間の大雪時には、工区外からホイールローダ等を借上げし、集中的な降雪に対応

＜立ち往生車両発生に備えたけん引車両の事前配備＞

- けん引用除雪ドーザの配置（継続）

＜スポット対策＞

- 簡易的な可搬式標識を配備し、通行規制時には迂回案内等に使用。状況に応じて設置箇所を変更する事により、通行止め規制時の渋滞を緩和する。



可搬式の標識のため、設置場所が柔軟に対応できる。

＜効率的な除雪の実施＞

- 福井河川国道事務所管内の除雪車両等（予備機含む）約130台に携帯GPSを設置（継続）



災対本部等で位置情報の確認

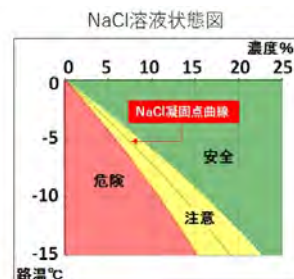


2台の梯団除雪を実施

＜新たな技術の導入＞

- 車載式の塩分濃度センサー等により、リアルタイムに路面の塩分濃度を計測し、効率的な散布とコスト縮減を両立。

・車載式塩分濃度計測システム

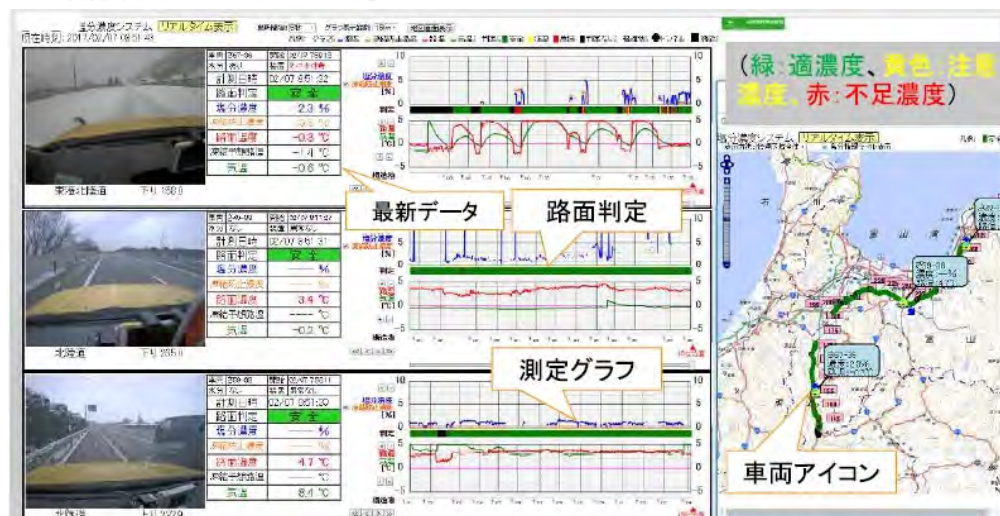


参考凡例（路面が溶液状態時に限る）

安全：溶液状態

注意：安全と危険の間（まだ湿润状態）

危険：凍結開始 → 氷が混じる → かなり凍結 → へと変化



塩分濃度の不足箇所をグラフ及び地図で把握

令和7年度の雪害対応（その他②）

＜福井県冬期道路情報連絡室でタイムラインに基づく連携＞

●福井県冬期道路情報連絡室

【参加組織】

福井河川国道事務所、福井県、福井県警本部、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社、福井地方気象台、自衛隊福井地方協力本部 他、必要と認める者

【内 容】

- (1)各機関が収集する降雪状況と気象予測の情報
- (2)通行規制、路面状況、交通状況の情報共有
- (3)広報(交通需要抑制、広域迂回、通行規制予告等)に関する
こと
- (4)通行止め予定区間、除雪体制等の共有、広域通行止め等
に関すること
- (5)その他、目的を達成するために必要な事項 など



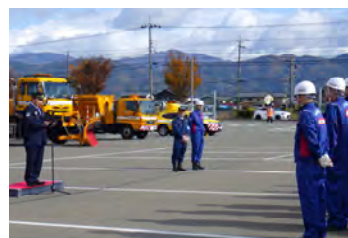
OWEB会議を利用し、情報
共有体制を確保

●訓練

○関係機関との連携強化を目的とした訓練等を実施

＜令和7年度の実績＞

番号	訓練等	実施機関	開催日	場所
①	現地対応訓練	福井河川国道	11/18(火)	上安田チェーン着脱場
②	除雪作業出動式	福井河川国道	11/18(火)	上安田チェーン着脱場
③	荷主団体へ要請	福井県冬季道路 情報連絡室	11/26(水)	福井県商工会議所
④	除雪機械技術講習会	福井河川国道 福井県	11/27(木)	今庄365スキー場
⑤	福井県冬用タイヤ装着率調査	福井河川国道 福井県 NEXCO中日本	12/4(木)	国→道の駅「河野」 県→道の駅「みくに」 NEXCO→南条SA



除雪作業出動式(乗車体験会)



現地対応訓練

＜沿道施設管理者との大型車の一時待避所利用の調整＞

以下の施設管理者と覚書を締結。

- ・ 福井県立図書館 (H30. 11. 30締結)
- ・ イオン加賀の里店 (H31. 1. 22締結)
- ・ アピタ福井大和田店 (H31. 2. 19締結)
- ・ ピアゴ丸岡店 (H31. 2. 19締結)
- ・ 福井新聞社 (R1. 10. 4締結)
- ・ 産業会館 (R5. 1. 23締結)
- ・ サンドーム福井 (R5. 1. 23締結)
- ・ 道の駅「越前たけふ」 (R6. 1. 22締結)
- ・ きらめきスタジアム (R6. 1. 22締結)
- ・ コメリパワー武生店 (R7. 4. 23締結)
- ・ ムゼウム前駐車場 (R7. 4. 23締結)

令和7年度の雪害対応（その他③）

＜チェーン装着の徹底＞

●「冬期間の安全で快適な交通確保について」の要請文書を各府県のトラック協会・福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会へ昨年度に続き今年度も要請予定

要請先：

各府県トラック協会

福井県、滋賀県、京都府
大阪府、兵庫県
和歌山県、岐阜県
愛知県、三重県、広島県、
岡山県、鳥取県、島根県

福井県商工会議所連合会
福井県商工会連合会
バス協会、タクシー協会



令和7年度 福井県商工会議所連合会への要請

◆要請は、福井河川国道事務所、福井県警察本部、中日本高速(株)、西日本高速(株)、福井県土木部の連名で実施。

冬期間の安全・安心な交通確保について

平素は、福井県内の円滑な道路交通の確保に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。
福井県は冬期に積雪が集中する地域であり、北陸地方の入り口という地理的要因もあり、積雪による交通障害がしばしば発生しています。

平成30年2月豪雪に匹敵する大雪となった令和3年1月7日から大雪では、滋賀を中心に大雪となり、福井市では約100cm、大野市では約140cmなどの降雪を記録し、高速道路や国道などで大渋滞等の立ち往生、渋滞等が発生し、解消までに2日以上を要する事態となりました。

これを受けて、国土交通省での検討をふまえ、短期間の集中的な大雪に対しては、幹線道路の一方を確保し通行止め時間を短縮化する等の従来の考え方を転換し、人命を最優先し、大規模な車両滞留を徹底的に回避するために、広範囲の計画的・予防的通行止めや降雪能力を超える降雪に対し、高速道路と並行する国道等の同時通行止めを実施し、集中的な降雪作業を行うため、そのためのタイムライン（防災行動計画）を県内各道路管理者、警察及び気象台等で検討、作成し、ハード的、ソフト的な降雪体制の増強、合同訓練の実施など関係機関との連携の強化等、鋭意取り組みを進めているところです。

また、大雪時における物流の安全確保のあり方については、トラック事業者による安全確保対策にとどまらず、荷主の理解と御協力を得ながら関係官庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、貴所におかれましては、円滑な道路交通の確保及び物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・財産を守るため、下記事項について特段の御配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 豪雪地帯の日本海側など積雪寒冷地を走行する場合には冬用タイヤの装着に加えてチェーンを装着し、気象情報や道路情報に注意してチェーンの早めの装着
2. 冬用タイヤの装着やチェーンの装着などの冬装備の啓発
・後輪がダブルタイヤの場合は、トリプル型チェーンの装着
3. 最新の気象・道路情報入手したうえで、降雪時でも余裕のある運行計画の実施
4. 様々な機会において、速度超過の抑止、積雪時の急ハンドル・急加速・急ブレーキの抑止の呼びかけ
5. 荷主関係団体等におかれましては、大雪が予想される時は以下についてお願いします。
・大雪等異常気象時による突発的な事故により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事故がやむを得ない認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、

＜大雪時の需要抑制と広域迂回の呼びかけ＞

- 大雪による通行規制が予測された段階で、関係機関のSNS、HP、道路情報板等の広報媒体・報道機関等を活用し、出控えや広域迂回の呼びかけを実施
- 雪シーズン前に危機意識に繋がる広報を実施

国土交通省 近畿地方整備局
Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism, Kinki Regional Development Bureau

令和7年2月4日 10時00分
近畿地方整備局
（同時発表 西日本高速道路（株）近畿支社）
（同時発表 中日本高速道路（株）近畿支社）
（同時発表 東日本高速道路（株））
（同時発表 本州四国連絡高速道路（株））

大雪の影響による通行止めの可能性の高い区間について（近畿全域）
※2月4日（火）10時現在※

福井県、近畿地方では、2月4日から2月7日頃にかけて山地を中心に大雪となる所がある見込みです。また、上空の寒気の影響により、平地でも積雪となるおそれがあります。
現時点で降雪等の影響により、福井県、近畿地方における通行止め実施予定区間及び通行止めの可能性が高い区間は別添1のとおりです。

※前日からの変更分（別添2）
・通行止めの可能性が高い区間からE29 豊和道 岸和田和歌山（10～阪和10）、E71 関西空港道 泉佐野 JCT～りんくう JCT、阪神高速道路を削除
・通行止めの開始見込み時間を変更
E8 北陸道・E27 舞鶴新道・国道4号・国道27号・国道161号（2月4日夕方（16時～19時）以降）
E67 中部縦貫道（2月5日6時～12時）以降、E91 南大阪道路（2月5日6時～12時）以降、E67 中部縦貫道（上北比10～大野10）の4日18:50発表の通行止めの可能性が高い区間については、時間が変更となりました。

○大雪時の大規模な車両滞留を防ぐため、予防的通行止めを実施する可能性がありますので、大雪が予想される地域への外出自粛（出控え）をお願いします。

○やむをえず外出される場合は、最新の気象情報、道路情報を確認していただくとともに、必ず冬用タイヤの装着やチェーンの装着（装着）、食料や水の備行、燃料の補充、迂回の実施等の通行ルートの見直しにもご協力お願いします。

○積雪・凍結道路ですり止めなどの措置をとらない運転は法令違反となります。

○積雪・凍結道路ですり止めなどの措置をとらない運転は法令違反となります。

記者発表（近畿地整）



報道関係者との勉強会（福井河国）

国土交通省 福井河川国道事務所
@mit_fukui

❌通行止めのお知らせ❌
降雪等の影響により #国道8号 足田交差点（敦賀市）から滋賀県方面は16時から通行止めを実施しています。付近を通行される方はご注意ください。

午後4:34・2025年2月18日・5.4万件の表示

国土交通省 福井河川国道事務所
@mit_fukui

23時現在の #国道8号 福井県坂井市丸岡町の現在の様子です。
通行の際は冬用タイヤ等を装着し、慎重な運転をお願いします。
#いのちとくらしをまもる防災減災

R 8 3 9 7、61 KP 一本田福所（上）

0.24 福井県坂井市丸岡町一本田福所

午後11:21・2025年2月4日・2.3万件の表示

X（福井河国）

平成30年2月の大雪による雪害事例

福井県嶺北地方では、平成30年2月4日から7日にかけての降雪が、6日16時までの24時間で平地でも60cmを超える記録的な大雪となった。また、あわら市から坂井市において9箇所で立ち往生車両が発生した。その影響で、約1,500台の大規模な車両滞留が発生し、約66時間の通行止めが発生した。



②(2/7 15時頃)4車線区間の滞留状況



①(2/7 10時頃)2車線区間の滞留状況

【気象概況】

○2月4日から8日にかけて日本付近は強い寒気に広く覆われたため、北陸地方を中心に大雪となり、福井市では昭和56年(1981年)の豪雪以来37年ぶりに積雪が140センチを超える大雪となった。



通行止め区間 位置図

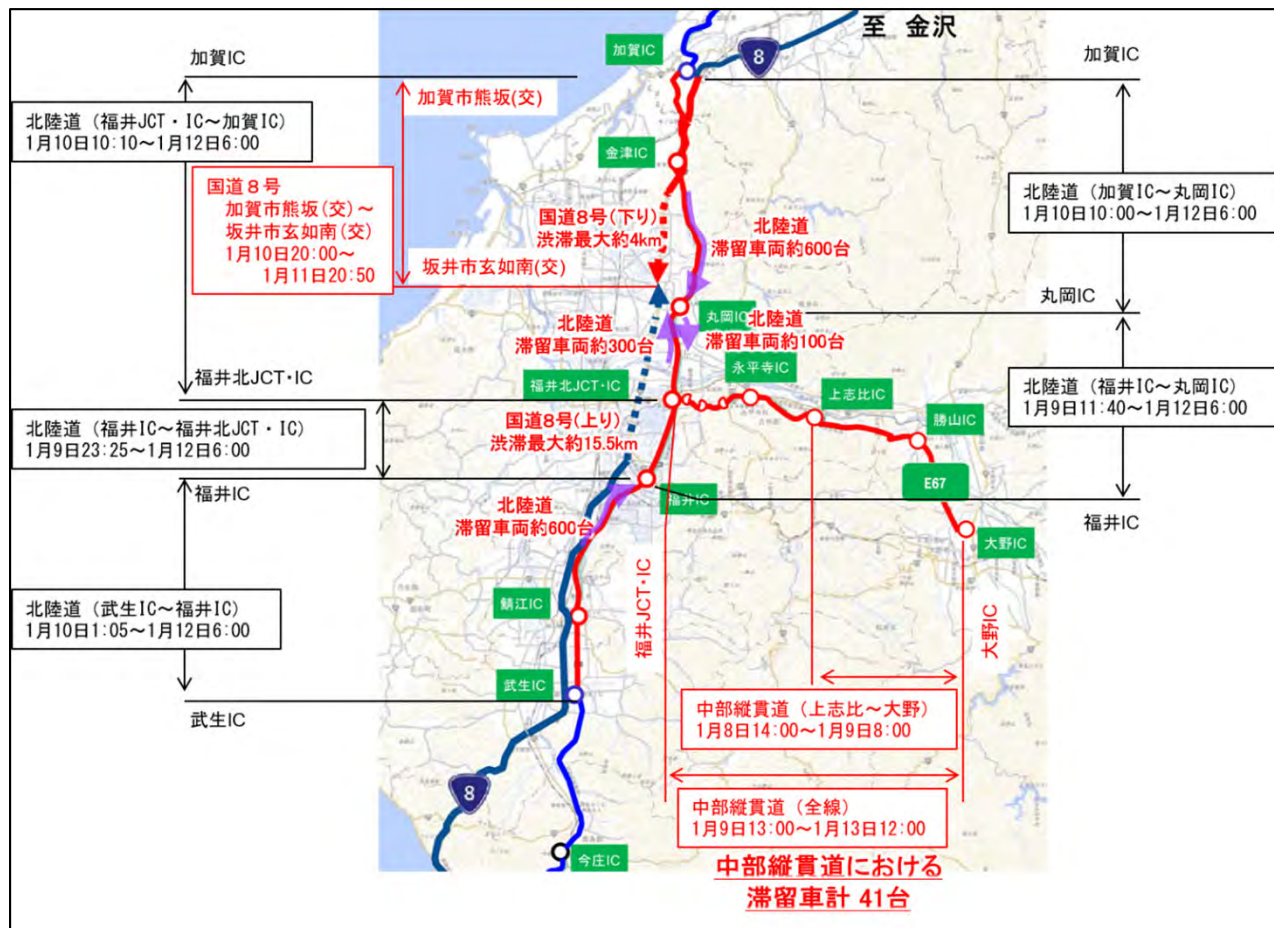


令和3年1月の大雪による雪害事例

令和3年1月に本州日本海側を中心に大雪が降り、福井県内においても短期集中的な降雪となりました。北陸自動車道で大型車両などがピーク時に約1,600台滞留し、通行止めになりました。国道8号へ大量の車両が流れ込み、最大約16kmの渋滞が発生し、災害対策基本法に基づく区間指定を行い、警察と連携した通行規制、自衛隊と連携した集中除雪、滞留車両の排出作業等を実施するとともに、県・市町村・自衛隊と連携して、滞留車両への食料提供を行いました。

また、中部縦貫自動車道についても、全線通行止めにして集中除雪を行ったものの、その後も車両のスタックが絶たず、再度の通行止めをするなど、県、市町村とともに大変な苦労を強いられました。

令和3年1月8日からの福井県内の通行止め状況



【北陸道】



【国道8号】



■同時通行止めイメージ

従来の除雪

北陸道・国道8号
『交互通行』

①通常の降雪時：通常の除雪体制

②強降雪時：高速（又は国道）でスタック発生

③スタック等の事象発生後に通行止⇒高速の通行止めにより国道で渋滞

④渋滞により、国道及び高速でスタック多発⇒立ち往生により除雪不可（悪循環）

新たな取組み

北陸道・国道8号
『予防的通行止』『同時通行止』

①通常の降雪時：通常の除雪体制（①と同じ）

②強降雪の予想 ⇒ 『福井県冬期道路情報連絡室』の立上げ

■福井県冬期道路情報連絡室
気象予報・実降雪・積雪状況・路面状況・降雪状況・交通量を正確に確認し、関係機関と協議の上、通行止の判断を行う。

③高速及び国道を同時通行止し集中除雪

④集中除雪完了後、順次開放し通常除雪体制に移行

令和 7 年 11 月 26 日

道路局 環境安全・防災課

冬期の安全・安心な通学路にむけた取り組みを進めます ～学校関係者や地域住民と連携した取り組みを全国 8 地区で先行実施～

豪雪地域においても、小学生等が安全で安心して通学できるように、全国 8 地区で道路管理者と学校関係者・地域住民が連携して、冬期の安全・安心な通学路を確保するために重点的に除雪等に取り組むべき箇所を把握・改善する取り組みを実施します。

冬期の通学路では、除雪が不十分で安全な歩行空間が確保されない場合があることに加え、大雪時には特に通学時間帯前までに除雪を間に合わせることが困難等の課題があります。

今冬より、冬期の安全・安心な通学路の確保に向けて、道路管理者・学校関係者・自治体や警察等が協力・連携する調整会議を新たに設置して、

- ①通学路における冬期特有の課題箇所の確認・共有
- ②関係者による対策の実施・調整（通学時間帯までの道路管理者連携による除雪（歩道版連携除雪）、融雪設備の整備、ボランティアなどによる除雪支援調整など）
- ③大雪時の相互支援等の事前調整（除雪優先区間の確認、相互応援・支援体制の構築など）

を行う取り組みを豪雪地域の全国 8 地区（別紙参照）で先行的に実施します。

今冬の先行実施地区の取り組み結果を踏まえて、来年度以降は、関係機関の連携の取り組みを他の積雪地域にも共有・展開し、冬期における安全・安心の通学路確保を更に進めてまいります。

<問合せ先>

道路局 環境安全・防災課

（通学路の安全確保について）

道路交通安全対策室 太田（内線 38138）・大住（内線 38129）

代表（03）5253-8111 直通（03）5253-8907

（先行実施箇所について）

道路防災対策室 沼崎（内線 38282）・田村（内線 38283）

代表（03）5253-8111 直通（03）5253-8489

冬期通学路確保にむけた先行実施地区

○冬期通学路確保強化(案)

道路管理者、学校関係者、自治体等による調整会議を新たに設置し、

①通学路における冬期特有の課題箇所の確認・共有

②関係者による対策の実施・調整(通学時間帯までの除雪連携(歩道版連携除雪)、融雪設備の整備、ボランティアなどによる除雪支援調整など)

③大雪時の相互支援等の事前調整(除雪優先区間の確認、相互応援・支援体制の構築など)
等により、冬期の安全・安心な通学路を確保

●冬期の通学環境の課題例

○先行実施地区一覧

自治体名	地区名
北海道札幌市	しろいし ほんだおり 白石区本通地区
青森県弘前市	とよだ 豊田三丁目地区
秋田県秋田市	かわべ 河辺地区
山形県山形市	じんば えまた 陣場～江俣地区
新潟県長岡市	ながおか 長岡地区
富山県富山市	しんじょう 新庄地区
石川県金沢市	さいねん 西念地区
福井県福井市	かずえなか 主計中地区



除雪で積み上がった雪による見通し不十分



歩道除雪が間に合わず車道歩行による危険性

冬期通学路確保強化の取り組みイメージ

○関係者の現場視察・意見交換(開催イメージ)



○歩道除雪の実施



○消融雪設備による通学路確保



○ボランティアによるバス停雪かたづけ



荷主関係事業者等 各位

令和7年12月5日
中部運輸局福井運輸支局

大雪等異常気象時の無理な運行指示は トラック・物流Gメンの是正指導の対象になります

福井県は冬期に積雪が集中する地域であり、積雪による交通障害がしばしば発生しています。令和3年1月7日から的大雪では、高速道路や国道などで大型車等の立ち往生、渋滞等が発生し、解消までに2日以上を要する事態となりました。

つきましては、トラック運転者の生命身体やお預かりした荷物を守るため、大雪等異常気象が予想される時には、別添「異常気象時における措置の目安」を参考に、以下の点について措置を講じて頂くようお願いいたします。なお、**異常気象時の無理な運行指示は、トラック・物流Gメンの是正指導の対象**となり得ることを申し添えます。

- ✓ 大雪等異常気象時による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めていただきますよう、お願いします。
- ✓ 配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への運送依頼を控える対応をご検討いただきますよう、お願いいたします。

異常気象時の運行指示

(例) 気象警報が出ているにもかかわらず運行指示をする

異常気象時の運行指示の例

大雪警報や台風による警報が出ているのに運行を指示され、結局異常気象による輸送を継続できず、荷主から違約金を請求されるなどという例も。

これは当然違反原因行為です。



トラック・物流Gメンとは？ 通報窓口は[こちら](#)→



【本件に関する問合せ先】

中部運輸局福井運輸支局 輸送・監査担当 加藤、高間 電話：0776-34-1602 33

ドライバーの命と大切な荷物を守るために！ 異常気象時は運行中止も視野に…

台風等による異常気象時下における無理な運行により、近年、事業用トラックの横転事故等が相次ぐなど、トラック運送事業の遂行に支障をきたす事案が散見されております。

台風等による被害発生が予測される場合には、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、着荷主・発荷主等とも連携を図りつつ、ドライバーの命と大切な荷物を守るための行動の実践に取り組みましょう。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、国土交通省のホームページに設置する「意見等の募集窓口」や、最寄りの地方運輸局又は運輸支局等にその旨通報する手段が設けられています。

⚠ 異常気象時における措置の目安 ⚠

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20～30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30～50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時 	10～15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15～20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20～30m/s	通常で速度で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時 	大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき		
視界不良（濃霧・風雪等）時 	視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき		
警報発表時 	輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき		

※ 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

出典：国土交通省自動車局貨物課長通達 本この目安は令和2年2月28日現在。